

# 一貫教育

新篠津の子どもたちの明るい15の春を目指して

～ 新篠津小中学校 一貫教育推進員より ～

## I pad の活用 (補習の手段として…。)

(写真は、中2の数学「連立方程式」で行ったものです。)

過去には、放課後に子供を残し、個々に応じた補充をしていました。これは、子供の『分かった』『できた』・・・という達成感を持たせることが目的でした。

中学生には、部活動時間があり、帰宅の為のスクールバスが確保されているため、放課後の取り組みが可能でした。

ところが、小学生の放課後の居残りは、バスの増便や家庭でのお迎え、また習い事など、いろいろなハードルがあり、なかなか難しい状況にあります。

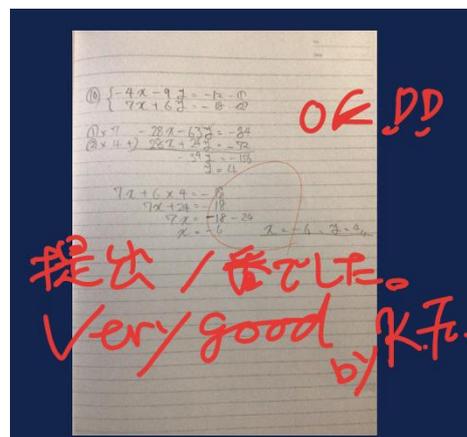
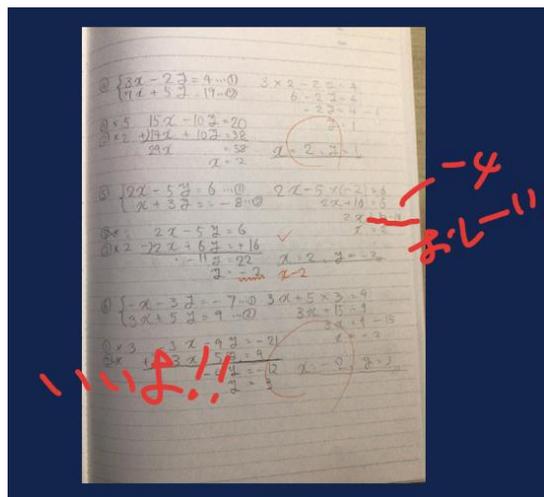
今年、教育委員会が用意してくれたものに、Ipad とそのシステムでロイロノートがあります。このシステムが、上記の問題を解決してくれる大きな可能性を持っています。

- ①教師は、個に応じた補充内容を、問題ややり方の解説付きで、ロイロノートを使って、その子に配信します。
- ②受け取った子供は、家庭でもどこでも、自分の都合の良い時に、その課題に取り組みます。
- ③その取り組んだ状態（ノート）を写メして、教師へ返送します。
- ④返信を受けた教師は、その子に適したアドバイスや評価を描き込み、更に、その子に返します。

これで、不十分な事が起きれば、マンツーマンで、学校の昼休み等を使い、更なる補充も出来ます。かなり、子供の『分かる』『できた』を実感させてあげる事が出来そうです。子供の算数の力が伸びる可能性は、今後の使い方にかかっていると云っても過言でなくらい有用なシステムに思えます。

Ipad の導入が決まって以来、児童・生徒のために有効に活用できる方法について小・中共に研修を重ねてきました。また、先生たちも授業の中での有効な活用について工夫や実践を積み重ね、交流も図られています。

(文責 福山)



## ロイロノート (Ipad) の活用 (子どもが問題を出し、答え、交流する。)

6年生の算数の授業で、「分数÷分数の問題を各自が作ってそれを全員に配信して、解き合おう!」という授業を行いました。その授業のねらいは、下のようなものでした。

### 【ねらい】

- (1) 数理関係の全体イメージをとらえる力の育成
- (2) 自分のアイデア (イメージ) を文章で表現する力の育成
- (3) 自ら解説を作ること、適切に分かりやすく処理する力の育成
- (4) 現実的に適正なことなのか否かを判断する力の育成
- (5) 他人の解答を確認することで、誤答への解説する力やより合理的な解き方の発見につなげる。

このねらいを確認して、自作問題解決学習を行いました。以下の写真はこの時の場面です。

① ある子供が、自作した問題をロイロノートを使って全員に配信しました。



② ある子が、解いたものを、作者に送信しました。



③ 問題の作者は、答えた子のミスに気が付いたので、添削して本人に返信しました。



児童自身が問題を出し、他の児童がその問題に取り組み答える。問題を出した児童がその解答を添削する。Ipadを活用して行った授業です。

間違えた児童が自分の誤答に気づき、新たな学びを獲得することができます。

また、問題を出した児童も間違いを確認することで、より深い学びとすることができます。

(文責 福山)